【図2】椎骨

椎体

横突起

椎間板

7個

12個

5個

脊髄

椎体

脊髄

棘突起

80

椎弓

【図1】脊椎

頸椎

腰椎

仙椎 尾椎

150

100

50

発生率(1000人あたり)

【グラフ】圧迫骨折の発生率

男 性

女性

50

観察値 推計発生率

観察値

推計発生率

60

70

年齢(歳)

(出典) Fujiwara S, Kasaqi F, Masunari N, et al. Fracture prediction from bone minera

胸椎

り、押しつぶ おのでしょう されるように ます。今回はこの「圧りやすいと言われていがな 迫骨折」を分かりやす く説明していきます。 骨) から形成されていいに腰の骨)、腰椎(ようついにお尻付近のいいがっていいがっていいがっていいがっていいがっているが、腰椎(ようついっているが、腰椎(ようついるが) から形成されている。 通事故など)によって所からの飛び降り、交いたこと(例えば、高 だけでなく椎間板など 発生しますので、 的には、 とが多いですが、本人 ときに痛みを感じるこ こともあります。 、麻痺などが生じるが挙げられ、しび

渡邊由紀 診療放射線技師 のことです 正迫骨折は椎体(つ部位ででで その脊椎を形成する の骨以外の部分も同時 損傷します。 そのた

骨折とはどんな病気

【写真】圧迫骨折のレントゲン画像 横突起 棘突起

40代女性(正常)



言葉を聞いたことがあ「圧迫骨折」という

係が深く、

が深く、そのため高、骨粗しょう症に関

こつ)と言います【図個々の骨を椎骨(つい

め脊椎損傷と呼ばれる

ことが多いです。

症状がほとんどない場

合もあります。

とも言い、脊いたい)骨折

弓(ついきゅう)、左る椎体、後方にある椎名】。椎骨は前方にあ

80代女性(圧迫骨折あり)

は、かなり強い力が働すが、若い方の場合権骨が骨折するわけでにこの いかんばん) 役割をする椎間板(つ

■圧迫骨折の症状 症状としては主に痛

れ、椎体同士の接する
き)などから構成さ 棘突起(きょくとっ突起(おうとっき)・ 間には、 右と後下に延びる横弓 (ついきゅう)、左 クッションの が存在し カが働いたこと (例えに骨粗しょう症のあるに骨粗しょう症のある ど)によって椎体のみば、尻もちをついたな す。また、骨折が起こ名が使用されていま く、椎体骨折という病 が骨折することが多

折という病名も使われる仕組みから、圧迫骨

発生率
■圧迫骨折の有病率・

bone mineral 8:1547-53. 山、山梨での調査によると、年齢ととも% は、広島、和歌

○骨密度 骨密度が低いと、

るいは尿が出にくくなきにくくなったり、あ る麻痺が生じることも 部まで骨折している場しかし、椎体の後方 合は痛みが強く、 して足がしびれたり動 時と 加すると言われてい迫骨折の危険性は増 歳高くなると、 圧迫骨 男女とも、 年齢が10 Q 幹 齢 折の危険性は1・5~

density in Japanese men and women. J Bone Miner Res 2003; 18: 1547-53. 加しています。 とぶ割合も増 し、椎体骨折が の発生率【グラによる圧迫骨折 す。70歳を超えに増加していま も年齢とともには男性の約2倍 また、別の調査 フ」では、女性 ると急激に増加 の使用などが挙げられ 取が少ない、遅力が弱い、 取が少ない、遅力が弱い、 関経からの年数、骨折 関係がらの年数、骨折

天満町)渡邊由紀 診療(梶川病院(広島市西区

折の危険性は4倍に高る場合、将来の圧迫骨 危険性は約2倍になるも、将来の圧迫骨折の に圧迫骨折の既往があと言われています。特 と言われています。 〇その他の危険因子 まるとされています。 〇骨折の既往歴 どの部位の骨

状が軽い場合は、自覚 迫骨折していたなど症 、体を動かしたあります。一般 関与が強いとされて既往歴」の3つは特に 中でも、 います。 与しています 「骨密度」、 でも、「年齢」、とていますが、そのとていますが、その因子が関 多くの 」、「骨折の 「年齢」、